

2019 年度 事業報告書

絆委員会 委員長
金子 隼人

1. 事業内容

- (1) 会員拡大
- (2) 3 月担当例会「WHY JEYCEE? ～気づきから始める長岡の発展～」
- (3) トレーニングセミナー「我らの青春ここにあり。～長岡青年会議所の絆は永久に不滅です～」
- (4) 交流事業「各委員会を周る旅～仲間を知り事業を知ろう～」
- (5) 新入会員設営事業 「いつ学ぶの? 今でしょ!」
- (6) 11 月担当スピーチ例会「継 SHOW～胸の奥に秘められた無限の可能性～」

2. 所感

絆委員会の委員長として、長岡青年会議所の組織力を高めたい。という思いを持って活動をさせて頂きました。なぜなら長岡の街を発展に導く活動が出来るのは、長岡青年会議所しかないと感じているからです。

まずは会員拡大が一番最初の課題でした。どうやったら拡大運動が巻き起こせるのか。と委員会メンバー、各委員会の拡大チーフで頭を悩ませました。拡大の必要性を皆で考えた結果、候補者の方に寄り添い、熱意を持って想いを伝えたことで、新しい仲間を増やすことができました。

3 月例会ではメンバーが J A Y C E E の可能性を感じ長岡の街を発展に導こうと使命感を持つことを目的に設営させて頂きました。メンバーで集まり様々な意見を出し合い協議を重ね、委員会の基盤となる例会を設営し、メンバーが熱意を持って目的を伝え、人の心を動かすことができるようになりました。

トレーニングセミナーでは組織の可能性を知り、組織力を最大限活用できる人財になることを目的に掲げました。一人の力には当然限りがありますが、トレーニングセミナーを通して、仲間を信じ、助け合うことで得られることの大切さに改めて気づきました。

交流事業では個と個の交流をはかり、各委員会の事業を理解することで、J C 活動に率先して参加できる人財になることが目的でした。無作為に作られたグループで、他の委員会に参加し、事業までの過程が見え、とても刺激を受けました。またグループメンバー同士が仲良くなることで、他の事業への参画意識が高まりました。

新入会員設営事業では、J C 活動に対する理解を深めた新入会員と、既存メンバーが交流することが目的でした。40 名の新入会員が率先して意見をぶつけ合い、実践したことで、新会員の不安を取り除くことだけでなく、背中を任せ合える関係を築くことができました。

11 月例会では卒業生には今までの活動を振り返り、限られた時間の中で熱い想いを伝え、自己を成長させること、既存メンバーには卒業生の熱い想いを継承し、今後の青年会議所活動への意欲を高める事を目的としました。時間に限りがあるからこそ、御卒業生は遺言として何を残したいのか、事前に準備をして頂き、想いを伝えてもらったことで、既存メンバーの今後の活動意欲を十二分に高めて頂きました。

無事に1年間委員長という職務を全うすることができたことは、LOMスタッフの皆様のご指導と委員会メンバーの皆様のご尽力による賜物です。年度が変わっても、今年得た経験を活かし、LOMや長岡の発展のために尽くしていきます。

最後に、このような機会を与えて下さいました上村理事長をはじめ委員会メンバー、並びにLOMスタッフの皆様、長岡青年会議所メンバーの皆様に、心より感謝申し上げ、絆委員会の所感とさせていただきます。